

豪雨災害による山間地域の交通インフラ遮断『過疎地の状態監視』

■課題

気候変動による豪雨の増加等により、地すべりや斜面崩壊による危険性が年々高まっています。重力で斜面がゆっくりと下方に移動して土塊の移動量が大きくなるため、発災すれば甚大な被害が予想される。

■概要・期待効果

斜面内部の地下水の上昇や地盤の傾き、土砂の移動、雨量の変化などから、いち早く土砂災害の予兆を検知し、地域の人命や財産を守る各種のセンサーデータや警戒システムを提供します。

